

# 第136回生存圏シンポジウム 生存圏データベース(材鑑調査室) 全国共同利用研究報告会



日時 2010年2月22日(月)  
Monday, February 22<sup>nd</sup>, 2010

場所 京大生存圏研究所 木質ホール 3階 大会議室  
Research Institute for Sustainable Humanosphere  
Kyoto University, Woodhall 3F

12:50 挨拶  
杉山淳司 京都大学

13:00~14:00  
特別講演  
生存圏データベースのアウトリーチの一例として  
日本列島に人間の森林利用を探る -DNA・花粉分析を用いて  
湯本貴和 総合地球環境学研究所

(休憩15分)

14:15~15:45 成果報告会1(各15分:発表12分/質疑3分)  
日本産木材標本採集実習  
能城修一 森林総合研究所  
木材から抽出したDNAを用いたアスナロとその変種ヒノキアスナロの分類  
高田克彦 秋田県立大学  
生物多様性に基づく中国産木材の構造的特徴の精査  
伊東隆夫 奈良文化財研究所  
遺跡出土自然木の樹種からみた古代における木材利用  
木沢直子 元興寺文化財研究所  
中国新石器時代遺跡における木材利用の解明  
鈴木三男 東北大学  
木彫仏への修理実践  
矢野健一郎 東京芸術大学

(休憩15分)

16:00~17:30 成果報告会2(各15分:発表12分/質疑3分)  
材鑑データベースを核とした国内大学収蔵木材標本の実態調査と情報整備  
佐野雄三 北海道大学  
年輪年代学的視点に基づく材鑑標本の試料調査および年輪データベースの構築  
大山幹成 東北大学  
歴史的建造物由来の古材試料の材質評価  
横山操 京都大学  
民家部材に用いられている樹種のデータベース構築  
中尾七重 武蔵大学総合研究所  
遺跡出土材の収集とデータベース化その保存処理研究に向けて  
遠藤利恵 京都大学  
日本古来の天然繊維  
反町始 京都大学

会議終了後簡単な懇談会を開かせていただきますので、あわせてご参加ください。

参加無料

問い合わせ先  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京大生存圏研究所 バイオマス形態情報分野  
電話: 0774-38-3634 FAX: 0774-38-3635

